

菊池のコメを世界へ

江戸時代から「米どころ」として知られていた菊池市。生産者のさらなる意識高揚を促し、消費者に求められる「おいしいコメの産地」としての確立を図ります。

【申し込み・問い合わせ先】ブランド推進室 ☎0968(25)7266



第13回 菊池米食味コンクール

米作りを通して、また、地域・生産者・消費者を通して「米どころ菊池」の確立・PRと環境に優しい生産技術「菊池基準」の普及を行い、菊池米の販路拡大を目指します。

- とき** 11月22日(土) 午前10時～
- ところ** 泗水公民館
- 募集期限** 10月15日(水)～11月5日(水) ※(土)(日)を除く
- 参加資格** 市内在住の米生産者

- 対象米** 令和7年産菊池市産うるち米 玄米1.2kg
出品数 品種ごとに3検体まで
出品料 1検体当たり 千円
- ①個人総合部門** 最終審査(上位30人)に残った場合、8～10俵程度販売できる人。
②環境王国菊池基準登録部門 菊池基準の登録認定を受けている人(11月5日現在)。
 ▶菊池基準6以上の登録者は、5俵程度販売が可能な人となります。▶菊池基準の登録認定者は「個人総合部門」または「環境王国菊池基準登録部門」のい

- ずれかに参加できます。
- ③集落部門** 市内の集落に加入し、左記2つの部門に出品している人および九州のお米食味コンクールに出品している人。
 ※集落内で出品者が5人に満たない場合は、隣接集落(3集落以内)と合同(5人以上)で応募できます
- 申込方法** 申込書、玄米1.2kg(水分は13～16%厳守)、出品料を合わせて提出してください。
- 表彰**
- ①個人総合部門** 最優秀賞(1人)、優秀賞(29人)
②環境王国菊池基準登録部門 最優秀賞(1人)、優秀賞(14人)
③集落部門 最優秀賞(1集落)、優秀賞(4集落)
 ※①の上位入賞者全員(30人)と②の上位入賞者のうち条件に当てはまる人は事業者と買取契約を行います



第9回 九州のお米食味コンクール in 宮若

日本市場における九州産米の価値を高め、世界への販路拡大につなげることを目的としたコンクールです。今年は福岡県宮若市で開催します。

- とき** 11月30日(日) 午前10時30分～
- ところ** 宮若市多目的会館(宮若市宮田29-1)
- 募集期限** 10月16日(水)～11月5日(水) ※(土)(日)を除く
- 参加資格** 九州在住の米生産者

菊池米食味コンクールの申込者は、自動的に登録されます。また、菊池市の生産者がコンクールに出品した場合は、集落部門の対象者となります。

- 表彰**
- 【個人総合部門】**
 最高金賞(1人)、金賞(5人)、特別賞(24人)
【各県奨励品種部門】
 最優秀賞(1人)、優秀賞(5人)、特別賞(9人)
【自治体部門】
 優勝(1自治体)、準優勝(1自治体)、3位(1自治体)、順位表彰(2自治体)

温泉街のにぎわいを取り戻す

菊池温泉街リブランディング事業

市では温泉街のにぎわいを取り戻すため、令和5年度から官民が連携して温泉街リブランディング事業に取り組んでいます。
 (詳しくは「広報きくち 令和6年11月号」の特集をご覧ください。)

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7223



令和6年11月号

温泉街の再生に向け、今年から国の交付金を活用

官民連携で知恵を出し、温泉街の魅力を高める

市では、温泉街や観光関連事業者など、関係する皆さんと連携し、令和6年度から10年間の温泉街リブランディング基本構想や実行計画を策定しました。昨年度は、実証事業として、にぎわいを創出するイベントや宿泊プランの造成・販売などを実施しています。

今年度は、実行計画に基づき、各取り組みを計画的に推進していくため、国の交付金を財源として活用します。この交付金は、通称「第2世代交付金」といわれ、9月に交付決定されました。

本事業は、3つの取り組み方針「旅館・ホテルの経営基盤強化」「食を通じた温泉街の魅力化」「景観まちづくりの推進」に沿って推進しています。

昨年、地域を主体としたプロジェクトチームを立ち上げました。構成メンバーは、温泉街を中心とした旅館やホテル、飲食店の経営者の他、地域住民や観光協会、商工会、JAなどで組織しています。

試験的に温泉街のライトアップとはしごイベントを開催した他、地元の高校生も参加して



今年2月に実施したワークショップでは「足湯が良い」「空き店舗にチャレンジショップを」など、さまざまなアイデアが出ました

温泉街のまち歩きを行い、景観についての良さや課題を洗い出しました。

今後は、温泉街のブランドイメージやキービジュアルなどを策定し、さらなる温泉街の魅力アップに向けて、官民連携で取り組んでいきます。

菊池温泉街リブランディング実行計画に掲げる主な取り組み



宿泊施設の改修支援



温泉街の旅館・ホテルの大規模改修を促すことで、観光客に求められる宿へ再生します(令和8年度から補助を想定)。



グルメ開発&泊食分離



宿泊施設と飲食店が連携して、菊池ならではの看板グルメを開発し、プロモーションを推進。泊食分離の宿泊プランを作り、販売につなげます。



温泉街の景観づくり



歩きたくなる温泉街の景観づくりのため、ライトアップや景観デザインのガイドラインを作成します。